

美しいピンク色の花を咲かせる スプレーギク新品種を開発しました

スプレーギクとは？

- 茎から小枝がスプレー状に広がって多数の花を咲かせるタイプのキク。
- プレゼント用の花束、フラワーアレンジメントなど様々な用途で利用される。



スプレーギクの
フラワーアレンジメント



スプレーギク生産の様子

愛知県のスプレーギク生産

愛知県は全国第1位です

愛知県のスプレー ギク生産

- 作付延べ面積：190ha
- 生産本数：8,500万本
- 生産額：53億円
- 主な産地：田原市、
豊川市
(平成30年産 県園芸農産課調べ)

産地における問題

- 秋系品種(秋・冬・春
出荷用)
- 難防除病害による
被害の発生

開発の目標

- 秋系品種
- キク矮化病抵抗性を
持つ

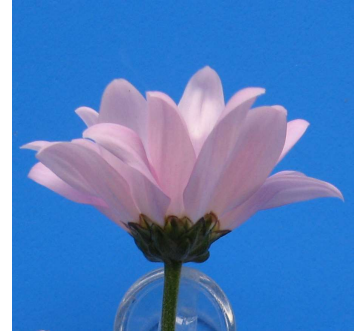
スプレーギク新品種「アイセイカーラ」 ～キク矮化病に感染・発病しません～

愛知県とイノチオ精興園(株)が共同開発



本品種の特徴

- 産地で問題となっているキク矮化病に対し強い抵抗性を持つ
- 10月から6月に生産するタイプ(秋系)のスプレーギク



ほ場における試作の様子

生産者及び流通関係者の評価

- 花色・花形が良い
- スプレーフォーメーションが良い
- 生育が旺盛で作りやすい
- 各地展示会で、花形・フォーメーション良好で高評価

高い評価をいただきました

育成経過

2016年 交配
2017～2019年 選抜
2020年2月 育成完了
2021年10月 市場出荷予定

普及目標

愛知県内
2021年 年間5万本
2025年 年間100万本

ピンク色スプレーギクの
主力品種に！